

令和5年度 環境保全報告書

株式会社 ロック・フィールド 神戸ファクトリー

目 次

①当該年度の重点取り組み目標・計画の実施状況

- 省エネルギーの推進
- 廃棄物の削減
- 資源の使用の抑制

②各種対策に係る計画

1) 公害防止対策に関わる報告

目標達成状況と達成のために講じた措置

調査結果

- ばい煙測定値
- 排水

2) 地球温暖化対策

1 電気・燃料等の使用予定量および使用実績

2 二酸化炭素排出削減目標に対する達成状況

3) 公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画と実施状況

令和5年度 環境保全報告書

株式会社 ロック・フィールド 神戸ファクトリー

①当該年度の重点取り組み目標・計画の実施状況

●省エネルギーの推進

＜目標＞ 電気使用量を、年間7,987.4千kwh以下に抑制する

	単位	2023年度
		5～4月
電気使用目標	千kwh	7,987.4
電気使用実績	千kwh	7,527.4
目標対比	(%)	94.2%

ユーティリティセンターを中心に工場稼働と連動した空調システムを構築。外気温度の上昇もあったが、夏季を中心に電力消費を抑制。晩秋に新発売したRFFFは顧客ニーズに答え、冷凍商品も徐々に増加基調となる。他、電力使用量に直結するLEDの定期的交換も工場ラインはほぼ完了した。

●廃棄物の削減

＜目標＞ 廃棄物(動植物性残渣)の廃棄発生を年間380.8t 以下に抑制する
 廃棄物(廃プラスチック)の廃棄発生を年間196.0t 以下に抑制する

	単位	2023年度
		5～4月
廃棄物(残渣)総量目標	t	380.8
廃棄物(残渣)総量実績	t	347.1
目標対比	(%)	91.2%

	単位	2023年度
		5～4月
廃棄物(廃プラ)総量目標	t	196.0
廃棄物(廃プラ)総量実績	t	174.3
目標対比	(%)	88.9%

部門横断した、活動成果の積み重ねが功を奏した。プラスチック問題は全社あげて着手したこともあり、川上から川下までの部門横断した取り組みとなり、包材の薄肉化、バイオプラスチック使用等のハード面の切り替え効果が大きい。

●資源の使用の抑制

＜目標＞ 水の使用を年間108.9 千t 以下に抑制する

	単位	2023年度
		5～4月
水 使用量目標	千t	110.9
水 使用量実績	千t	107.2
目標対比	(%)	96.7%

機械設備の冷却水を再利用するなど、積極的なハード面の見直しが功を奏した。

②各種対策に係る計画

1) 公害防止対策に関わる報告

目標達成状況と達成のために講じた措置

	目標達成状況	目標達成のための措置
大気汚染防止対策 大気汚染防止法の排出基準に関する条例等を遵守する ばい煙発生施設からの排出規制を遵守する	測定の結果すべてのばい煙発生施設(ボイラー)の排出が規制値内に収まった (規制値および測定結果は下記参照)	ボイラーを0.65MPaで運転 ばい煙発生施設の巡回 月1回のメーカー点検
水質汚濁防止対策 法令の遵守 非PRTR系物質で構成する薬剤の選択	排水の自主基準値を設定。年間をとおして順調に推移 一部薬剤を残し、非PRTR系物質で構成される薬剤を選択 単位:kg 2022年 101.5 2023年 770.0 前年対比 758.6%	除外施設を適正に維持管理し、定期的に水質測定を実施 令和5年4月より第一種特定化学物質の対象物質が増加したことによる増加 2023年度は、化審法の改定などもありPRTR系洗剤の増加となる。非PRTR洗剤への切替など急務である
廃棄物対策 法令の規制遵守と適正処理 発生量の抑制と再利用の	法令および適正処理に関して遵守できた 単位:kg 2022年 659,917 2023年 10,060 前年対比 1.5%	法令の規制を定期的に確認し遵守につとめる 歩留まり管理 原材料の効率的な活用

※排水にかかわる自主規制値

項目	自主規制値	
PH	5～8	神戸市下水道条例による数値を上回る水質
BOD	180以下	水質使用料徴収の非該当値内
SS	180以下	水質使用料徴収の非該当値内
ノルマルヘキサン	5以下	水質使用料徴収の非該当値内

調査結果

●ばい煙測定値

測定年月日		R4年9月測定	
9月測定値		ダスト濃度	窒素化物濃度
規制値(猶予中)		0.1g/m ³ 以下	150volppm以下
測定値	ボイラー-NO1	0.0019mg/m ³ N未満	25ppm
	ボイラー-NO2	0.0019mg/m ³ N未満	25ppm
	ボイラー-NO3	0.0019mg/m ³ N未満	25ppm

ボイラー設置届(西宮労働基準監督署)検定番号 No.小 Z 201106

東灘消防署への設置届:蒸気ボイラー-SQ-2000AS×3台(令和4.10.28)

ばい煙発生装置設置届出(神戸市環境局):第4A2016号(令和4.10.7)

●排水

		管理基準値	最大測定値	平均	測定回数	超過した回数	判定
(法令排水環境基準項目設定項目)	PH	5~8	7.5	7.2	49	0	○
	BOD	180以下	92	46.0	49	0	○
	SS	180以下	150	70.0	49	0	○
	ノルマルヘキサン	5以下	3	0.5	49	0	○

2) 地球温暖化対策

1 電気・燃料等の使用予定量および使用実績

区分	燃料・焼却物等の種類	R4年度使用量	R5年度目標	R5年度使用量	単位
燃料	都市ガス	824,806	82,640	78,290	Nm ³
	その他(廃棄物等)				Kg
	電気事業者から供給された電気	7,944,400	7,987,400	7,527,400	kwh
	熱供給事業者から供給された熱				
	原油換算	3,004	3,100	2,848	KL
	生産量	6,769		6,642	t
	エネルギー使用量原単位	0.451		0.4430	

2 二酸化炭素排出削減目標に対する達成状況

単位:t-CO₂

温室効果ガス	R4年度排出目標		※排出実績
二酸化炭素	電気	3	2
	ガス	2	3
	計	5	5

コロナ禍の影響から回復もあり、全体の使用量が増加

3) 公害防止対策地球温暖化対策以外の環境保全活動にかかわる目標、計画と実施状況

分野	項目	目標	実施状況
理事業所等での廃棄物の適正処	コピー用紙の使用削減	小集団活動による見直し	小集団活動により裏紙使用、両面使用を推進
	作業のペーパーレス化	環境配慮した、FSC認証紙へ変更	スキャナー活用 裏紙活用の推進
			データ配信によるペーパーレス化
	適正処理	新規取引先を含めた処理場視察	視察計画に沿って中間処分場の視察を実施(4か所)
	分 別	教育による徹底	継続して徹底
	再生製品の使用	再生製品の利用率向上	再生製品使用
従業員教育	教育の年間計画策定	計画された教育の実施	実施
	環境に関する外部教育・セミナー参加	1人/年	1人/年
	小集団活動による主体的な取組の推進	重点目標の達成	5項目中5項目で達成
環境管理システムの充実	ISO14001認証継続	活動の改善	改善活動を継続
	内部監査実施	年2回実施	2回